

稼げる農業を目指す農業ソリューション クラウドシステム「web-Watcher®」

～圃場とつながるプラットフォーム～

株式会社NPシステム開発

大野浩一／小松周平／渡邊千尋



用途 経営規模	稲作	露地野菜	施設野菜	果樹	花卉
大規模	△	○	◎	◎	◎
中規模	△	○	◎	◎	◎
小規模	△	○	◎	◎	◎

はじめに

現在、就農人口の減少、就農者の高齢化、耕作放棄地の増加など、農業をとりまくさまざまな課題を解決するために「稼げる農業」の確立が最重要である。新規就農者でも安定した生産ができる環境を作り、問題解決を図るために、弊社は2018年春から農業用クラウドシステムのサービス提供を開始した。

本稿ではIoT技術を活用し、知識、経験、勘を定型化するためのクラウドシステム「web-Watcher®」を紹介する。

開発背景・開発の経緯

愛媛県松山市に本社を置く弊社は、全国で10万台を超えるトラック等のデジタルタコグラフやドライブレコーダ、および車両運行管理システム

の開発と販売を20年以上行っている。ユーザーは、車両に設置した機器によって速度・運転時間・位置情報などの運行状態をクラウドサーバと定期的に通信することでクラウドデータ化し、管理システムを利用できる。

長年デジタルタコグラフで培ってきたIoT開発力を農業分野に展開し、昨今の農業の問題を解決するため、圃場をモニタリングするための機器およびクラウドサービスの販売提供を2018年春に開始した。圃場に環境センサを設置し、サーバに集積したデータをインターネット端末から確認および分析ができる。またシステムには作業記録や生育記録、農業資材の使用履歴も登録でき、環境に対する作業の効率性を後で分析することもできる。

